

電気代、 高い時間帯を カット

蓄電池を導入して電気料金の安い時間帯に充電
高い時間帯に活用することでコスト削減に



自動制御で簡単に節約

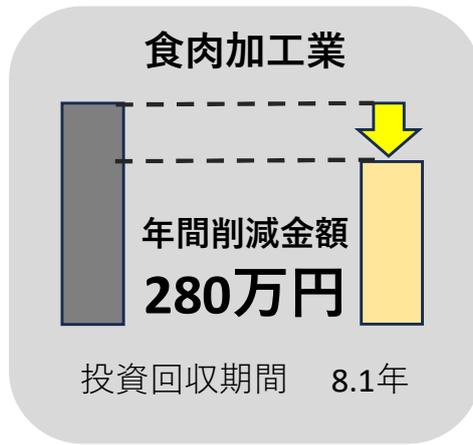
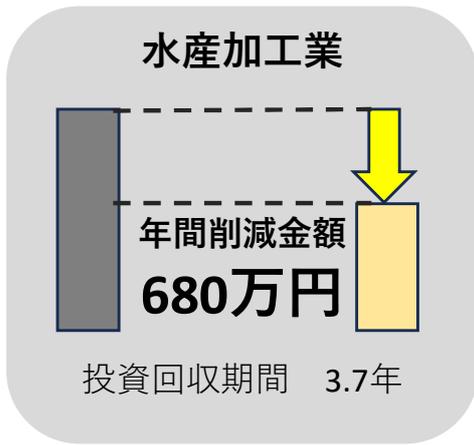


既存設備は
そのまま利用可能



補助金・税制優遇も
活用可能

▼導入効果の実例紹介



※いずれもDR補助金活用

▼なぜ削減できるのか？

✓ 安価な時間帯に充電

昼間など電力市場単価の安い時間帯に充電し、コストを抑えた電力活用を実現します。

✓ 高単価時間帯の購入電力を削減

電力市場単価が高くなる時間帯に放電し、買電量を減らすことで電気料金の上昇を抑制します。

✓ 高精度のシミュレーション

電気料金明細とデマンドデータを活用してシミュレーションを行うことで、実態との乖離を抑えた予測が可能となります。

✓ 補助金活用で初期投資を圧縮

国の補助制度を活用することで、導入時の初期費用負担を大幅に軽減できます。

今が導入のチャンス

補助金には公募期間・予算上限があります。
活用できる今が最も効果的なタイミングです。

無料シミュレーション受付中
現在の電気使用量から
削減額・回収年数を試算できます
お気軽にお問い合わせください。

札幌電業舎

× SE Seal Engineering